

とり残された心の復興
— 大学の潜在的資源と果たすべき使命 —
 小谷英文
 PAS心理教育研究所

I. 活動実績

東日本大震災心理救急・中長期支援活動

1. 2011年3月14日 国際基督教大学高等臨床心理学研究所 震災救急心理相談特別支援チームの立ち上げ

事業内容：ホットライン／無料相談／心理支援指導 バックアップ；IAGP Trauma/Disaster Task Force

5月：宮城県 養護施設松島子どもの家 子どもの心的影響チェックと救急支援

NPOケア宮城 心理支援者のためのPTSD対処法の指導ワークショップ

その後のケア宮城心理支援活動のバックアップ

宮城県教育委員会；教師の心理支援ワークショップ 中浜小学校；教員の心理支援指導

2. 2011年9月 震災復興心理・教育臨床センター 開設 仙台市 <http://ejcenter.wordpress.com/>

宮城学院女子大学 発達科学研究所（所長 足立智昭教授）・国際基督教大学 高等臨床心理学研究所

（所長 小谷英文教授）共同事業 資金後援 Japan ICU Foundation

2013年4月より 資金後援 ライオンズクラブ心の復興プロジェクト ライオンズクラブ国際財団 他

事業内容 無料相談／専門家心理支援指導／出向心理支援指導／PTSD予防・治療心理教育

バックアップ；PAS心理教育研究所 非営利事業部 <http://www.pas-ins.com/nonprofit/>

International Association of Dynamic Psychotherapy

利用者内訳

表3 震災復興心理・教育臨床センター実績 2011年9月—2013年3月

活動述べ日数 35日

相談実績	当事者からの個別相談	延べ 55人
	コンサルテーション	延べ 35人
	心理教育	延べ 300人
	サポートグループ	延べ 87人
	小計	延べ 477人
講話	156人 出向講話 延べ 321名	小計 延べ 477人
	1日集中ワークショップ 1年記念	延べ 110人
	1.5年記念 延べ115人	小計 延べ 225人
	総計	延べ 1179人

出典；宮城学院女子大学発達科学研究所・国際基督教大学高等臨床心理学研究所 共同プロジェクト「東日本震災復興心理・教育センター（EJ センター）」公式記録（2013年9月）. 国際学会誌 “n. 6 July 2013 forum, Journal of the International Association for Group Psychotherapy and Group Processes Pp.79-99” において公開

これに続く実績は以下の通りである。

2013年9月以降下半期 利用者 延べ人数 251名

2014年4月-6月 利用者 延べ 420名

3. 2013年9月 **福島復興心理・教育臨床センター 開設 郡山市** <http://www.fukushimafreeclinic.com/>

事業内容 無料相談／専門家心理支援指導／出向心理支援指導／PTSD 予防・治療心理教育

開設時から現在（2014年6月）までの実績 来談者延べ人数 672名

参考のために 宮城県公的実績は以下の通りである。

表2 宮城県子ども心のケア2011年度相談実績

活動延べ日数 227日

相談実績 当事者からの個別相談 延べ 359人

関係者からの相談 延べ 81人

総談合計 延べ 440人

講話 17回実施 延べ 327人参加 総計 延べ 667人

出典：宮城県保健福祉部「東日本大震災～保健福祉部災害対応・支援活動の記録～」(平成24年12月)第9章5節 169頁

<http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/daisinsaikiroku-2.html>

II. 論点 とり残された心の復興

1. Hidden Impact の可視化の失敗か or 隠蔽か？
2. 問題が隠れ隠される集団／社会過程の較差力学：絆に隠れたトラウマ
3. 知識人／大学人の沈黙による共謀
4. 心の復興と次なる防備の鍵：教育による新たな文化の創造
5. 大学のミッション

略歴 小谷英文 1948年広島市生まれ 博士（心理学）

専門：精神分析的システムズ理論；精神分析的心理療法 困難患者心理力動／技法 危機介入 災害心理臨床
組織開発 エグゼクティブ・コーチング 創造性開発 心理療法訓練

資格：臨床心理士 CGP（全米公認集団精神療法師） IOGAP集団分析的的心理療法師（AUS）

職歴：広島大学助手 広島市民病院 神経科 非常勤心理療法師

アデルファイ大学高等臨床心理学研究所 客員研究員

New York Univ. Post-Graduate Medical School 集団精神療法過程終了

広島大学助教授、

国際基督教大学教授 教育学科長 大学院教育学研究科長 同高等臨床心理学研究所創立所長

現職 PAS心理教育研究所 理事長

復興臨床オーガナイザー：ライオンズクラブ心の復興プロジェクト：震災復興心理・教育臨床センター
福島心の復興心理教育臨床センター

学会等役職：Founder, President ; International Association of Dynamic Psychotherapy

Founder, Faculty ; International Organization of Group Analytic Psychotherapy

Past Board, currently Trauma/Disaster Task Force Member; International Association
for Group Psychotherapy and Group Processes

元 日本集団精神療法学会 学会誌編集委員長 国際委員長

Past Editor in Chief: International Journal of Counseling and Psychotherapy

主著：近刊 『不測の衝撃：危機介入に備えて知っておくべきこと』 金剛出版

<http://kongoshuppan.co.jp/dm/dm.php?cd=1379>

『大震災心理臨床の一步』 『Creating Safe Space through Individual and Group Psychotherapy』

『現代心理療法入門』 『ダイナミックコーチング』 『ニューサイコセラピィ』 『カオスと渾沌』

『カウンセリングとガイダンス』 『集団精神療法の進歩』 他